

独立行政法人国立がん研究センター理事会（第7回）議事録

日 時 平成 22 年 10 月 4 日（月） 10：00～11：30
場 所 独立行政法人国立がん研究センター 第 1 会議室
出席者 嘉山孝正理事長 新井一理事 岩坪威理事 町田睿理事
長崎武彦監事 久道茂監事 境田正樹理事長特任補佐

議事概要

I. 理事会（第6回）議事録の確認

- ・資料のとおり了承された。
- ・議事録署名人を町田睿理事と長崎武彦監事をお願いした。

II. 報告事項

1. 患者必携サポートセンターの設置について
 - ・がん患者の方やそのご家族の方が抱えるがんに関する疑問、不安や悩みを解決していくことを目的に、9月15日に電話相談窓口『国立がん研究センター患者必携サポートセンター』を開設したことが報告された。
2. 大島内閣府副大臣の視察について
 - ・9月13日に大島内閣府副大臣が当センターに来訪され、今までの改革内容の報告を行うとともに、IVR室、消化管内視鏡、予防検診研究センターを視察されたことが報告された。
3. 月次決算について
 - ・4月～7月分の月次決算状況について、損益計算書及びキャッシュフロー推移表により報告された。
4. 病院運営状況報告について
 - ・中央病院・東病院の8月分及び4月～8月累計の診療費請求額、患者数、病床稼働率等が報告され、今後は担当理事の助言のもと、改善すべき箇所がより分かりやすい資料とすることとされた。
 - ・検診者数減の原因解消のため、予防検診研究センターの体制を整備することとされた。
5. 年度計画の進捗状況の把握について
 - ・年度の前半が終了したことから、年度計画の事項ごとに具体的な責任部署を明らかにした上で、9月末までの実施状況と今後の実施予定を整理し、次回理事会で報告することとされた。

6. 総合内科の設置等について

- ・10月1日より総合内科を開設し、それに伴い総合内科長を新たに配置したこと、一部診療科の名称変更、事務部組織の一部改編を行ったことが報告された。

7. その他

- ・10月14日に、第3回6センター連絡協議会を開催することが報告された。
- ・10月1日より、ドクターフィーとして手術従事手当及び緊急時診療従事手当を導入したことが報告された。
- ・「がんワクチン」をテーマとして、国家戦略としてのがん研究シンポジウム第2弾を11月までに開催することが報告された。
- ・9月21日～24日に嘉山理事長が訪米し、Ludwig Cancer Institute 及び Memorial Sloan Kettering Cancer Center を訪問したこと、ワトソン博士と会談したことが報告された。

III. 審議事項

1. 研究所の組織見直しについて

- ・研究所新組織体制案について説明がなされ、資料のとおり了承された。

2. がん研究開発費の執行体制について

- ・がん研究開発費の執行体制、外部評価委員会、今後のスケジュールについて事務局から説明がなされ、資料のとおり了承された。

3. その他

- ・WHO 指定研究協力センター（①WHO「胃がんの第一次予防・診断・治療」指定研究協力センター、②WHO「喫煙と健康」指定研究協力センター）の状況を確認した上で、理事長直属の組織として組織図に加えることとされた。
- ・昨年度までの顧問及び新たな顧問候補者に対して、新たに国立がん研究センターに顧問会議を設置することを連絡し、顧問就任の要請をすることとされた。

IV. その他

- ・理事会議事について、担当理事及び担当監事への事前説明を徹底するようあらためて伝達された。
- ・今後は、報告事項を減らし、審議事項を増やすこととされた。